

平成 30 年度 第 1 回 情報共有基盤推進委員会
議事要旨

日時：2018 年 8 月 3 日(金) 13:00-15:00

場所：経済産業省 別館 1 階 114 各省庁共用会議室

出席者：

【委員（50 音順）】

甲斐 隆嗣 委員

川島 宏一 委員

須藤 修 委員

武田 英明 委員

田中 啓一 委員

長山 一 委員

橋田 浩一 委員

【オブザーバー】

内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室

【事務局】

経済産業省

独立行政法人情報処理推進機構

議題：

- (1)政府の取り組みと本委員会の位置付けについて
- (2)検討体制について
- (3)本年度事業について

配布資料：

- (1)【資料 0】平成 30 年度第 1 回情報共有基盤推進委員会議事次第
- (2)【資料 0-1】委員名簿
- (3)【資料 0-2】席次表
- (4)【資料 1】分野間データ連携基盤の整備
- (5)【資料 2】IMI 情報共有基盤 検討体制(案)
- (6)【資料 3】IMI 情報共有基盤 2018 年度事業(案)

議事概要：

■事務局連絡

- ・資料確認、委員名簿読み上げ+出欠確認。
- ・資料、議事概要を事前に委員に確認の上、公開することを説明。

■委員長互選

- ・須藤氏が委員長に選出された。

■(1)政府の取り組みと本委員会の位置付けについて

(事務局)資料1に基づき政府の取り組みと本委員会の位置づけを説明

(委員より)p.10の中に教育データ(eポートフォリオデータ等)が含まれていないが、教育関係のデータも重要なのではないか。また、これから作成されるようなデータは、作成される前にIMIで連携できるようなものにしてゆきたい。作成された後だと方向転換が難しい。

(事務局)教育関係も含め、IMIの宣伝やデータ連携に関する文化作りを進めてゆきたい。

経産省内ではデータを作成する時には、私のチーム(平本)に相談が来るようになってきておりデータリテラシーは向上してきた。しかし、各省庁を横断するようなデータ連携については実現するのは難しい。

また、既存データで各省庁がそれぞれの形式で持っている災害支援情報等のデータは、今後、省庁間で連携出来るように進めて行きたい。

(委員より)データを他の人に提供する為だけにIMI対応をするのではなく、実績のある、常にメンテナンスされている有益なデータがあれば、自分達の為にもなる。それをもっと分かってもらえれば、推進・促進につながると思う。

(委員より)共有データをメンテナンスする事に価値を感じる人、またはそこに問題意識を強く持っている人たちを如何に巻き込めるかがポイント。また、データを作成しても、作成直後が最高形ではなくスタート。そこから使ってもらわないと意味がない。その為の仕組み作りが重要。

(委員長)このテーマは引き続き検討してゆく。

■(2)検討体制について

(事務局)資料 2 に基づき、検討体制の案を説明

- ・検討体制として、本委員会の下に「技術検討 WG」、「利用促進 WG」を作り、さらに必要に応じて作業部会を設ける事を説明し、了承された。
- ・「技術検討 WG」の主査に武田氏、「利用促進 WG」の主査に川島氏を指名し、本人の了承を得た。

■(3)本年度事業について

(事務局)資料 3 に基づき、本年度の事業案を説明

(委員より)「技術検討 WG」と「利用促進 WG」は全く別のものを扱う訳ではないので、従来のステアリングコミッティのような調整機関が必要ではないか？

(事務局)WGとしては分けているが、同時開催や連携出来るような仕組みを考えたい。また、少なくともそれぞれの WG が何をしているか互いに分かるような形にしたいと思う。

(委員より)p.6 は「技術検討 WG」、p.7 は「利用促進 WG」だと思うが、「法人インフォ」の位置付けはどうなるのか？

(事務局)法人インフォの位置付けは、ツールを充実させたり技術的なものを確立させる為のターゲットとしており、その中で技術的な内容は「技術検討 WG」、利用促進に関する内容は「利用促進 WG」と考えている。

■その他

- ・「技術検討 WG」と「利用促進 WG」を 8/10 に行う事を予定している。(事務局)

【決定事項】

- ・須藤氏が、IMI 情報共有基盤推進委員会の委員長に選出された。
- ・武田氏が「技術検討 WG」の主査に選出された。
- ・川島氏が「利用促進 WG」の主査に選出された。
- ・「検討体制について【資料 2】」WG の構成、必要に応じて WG の判断で作業部会を作る事が承認された。
- ・「本年度の事業について」【資料 3】基本的方針、実施内容、スケジュールについて承認された。